

---

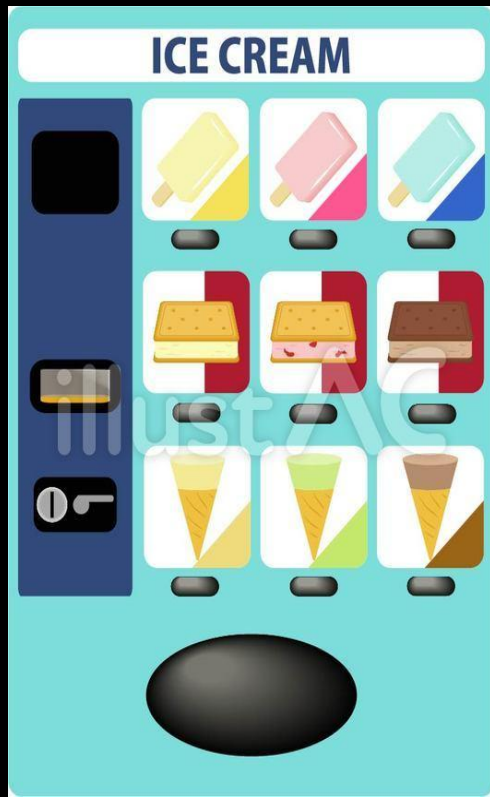
# 2026年前期生徒会 成果報告

---

# 公約一覽

- **アイス自販機設置の提案及びルールの設定**
- **部活動後に着替えなくても帰れるように**
- **女子トイレにナプキンを設置**
- **防寒着着用禁止期間の撤廃**

# アイス自販機の設置の提案及びルールの設定



## 公約：アイス自販機の設置の提案及びルールの設定

### 取り組んだこと：アイス自販機導入条件の検討

他校のアイス自販機の情報収集 / 先生方と懸念点の相談  
生徒総会でアンケート / アイスの企業とやり取り(4社)

#### 導入の条件は2つ

- ①. 校舎を汚さずにアイス自販機を使用できること
- ②. 赤字にならないこと

# 結論：アイスの形状やルールを工夫するも、導入は難しい

○ ①アイスの形状やルール設定次第で、校舎を汚さずに自動販売機を導入することはできそう

✕ ②導入しても赤字が予想される

- アイスの企業から導入するための人数規模が足りていないという助言。また今年も定員割れによりさらに需要が減少している
- 調査の結果、導入している他の2つ学校は赤字だった
- 物価・人件費高騰で管理側も利益が出ず、自販機の撤退が相次ぐ

※明治・ジョージア(6/12)とセブンイレブン(8/14)の自販機がなくなる

**公約：**

**部活動後に着替えなくても  
も帰れるようにする**

**公約：部活動後に着替えなくても帰れるようにする**

取り組んだこと



**先生方と懸念点の相談**



**先生方に、部活動後の服装を自由にしてもいいかどうか協議していただいた**

**結論**

**現状維持**

**(制服に着替えてからの下校)**

**今後の方針**

**手段の方向性を変えて継続**

**公約：**

**女子トイレに緊急用  
ナプキンを設置する**

# 公約：女子トイレに緊急用ナプキン常設と意識づくり

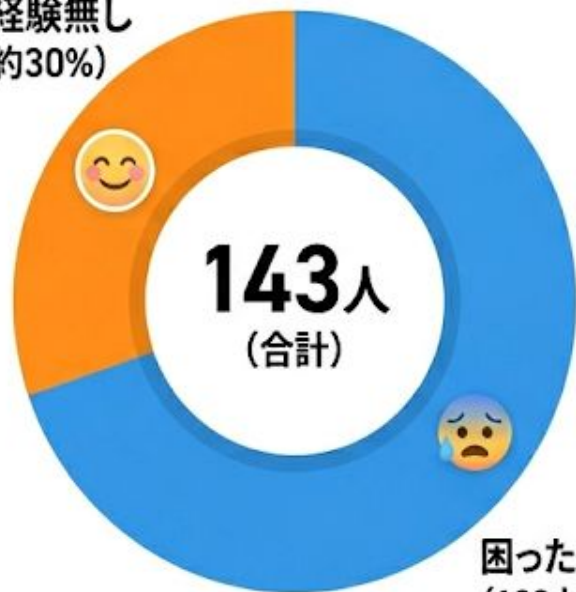
## 取り組んだこと

- 他校の実例を見て情報収集
- 一部の部活の女子に直接アンケートを取り情報収集
- アンケートを作成し実施

# 学校での生理に関するアンケート結果

## 学校での生理に関する困った経験 (計143人)

困った経験無し  
(43人, 約30%)



困った経験あり  
(100人, 約70%)

## 困った具体的な状況 (100人中、複数回答)

友人から借りた



74人

急に生理が来て困った



67人

ナプキンを持っていなかった



52人

誰にも言えず  
我慢した



30人



# 今後の方針

- ・PTAに、この取り組みへの費用支援をお願いするための準備をする
- ・女子生徒が自分の身体について理解し、ナプキンを忘れないようにする意識づくりをする

公約：

防寒着着用禁止期間  
の撤廃

# 公約：防寒着着用禁止期間をなくす

## 取り組んだこと

- ・ 防寒着着用期間**11月追加(実現)**
- ・ 防寒着着用期間**4月追加**から、**防寒着着用禁止期間全撤廃**へ方針変更
- ・ 先生方とお話をする

# 結論

現状は先生と話し合いのもと、案を固めるために猛進中

## 今後の方針

- ・ 前期公約の防寒着着用禁止期間を廃止を継続
- ・ 先生方とお話をしつつ、案をより形のあるものにするため改善

# 公約一覽

- **アイス自販機設置の提案及びルールの設定(決着)**
- **部活動後に着替えなくても帰れるように(決着・継続)**
- **女子トイレにナプキンを設置(継続)**
- **防寒着着用禁止期間の撤廃(継続)**

# 公約外の取組

- 生徒会倉庫の整理整頓
- 1体女子更衣室の改装
- 更衣室に時計の設置

※何かアイデアなどあれば、2F渡り廊下かclassi上にある目安箱に。



**議題：生徒会役員の任期について**

## 議題：生徒会役員の任期について

### 改正前

「役員の任期は、前期を1月1日から6月30日まで、後期を7月1日から12月31日までとする」（生徒会規約より引用）



### 改正案

**「役員の任期は、7月1日から翌年の6月30日までとする。」**

## 理由と状況

- ・半年では公約実現に対する**時間が圧倒的に不足**  
(先生方と議論しつくすことが困難)
- ・実際ここ2年で掲げられた公約10個のうち、半年間で決着・実現できたのは**わずか2例のみ**
- ・任期が半年の高校は香川県内で**わずか3校程度**

# 任期変更によるメリット・デメリット

## メリット

- ルールなど議論が必要なものに時間をかけられる
- 時間に余裕ができるため、存分に公約に注力できる
- 12月の選挙を中間報告に振り替えることができる

## デメリット

- 役員になる機会の減少と立候補のハードルがあがる

**今のまま半年の任期になると、十分な活動時間を確保できず、公約に関する結論が出ないまま次の選挙となってしまいます。**

**この状況を変えるため、より価値のある生徒会活動のために、生徒の皆さんに協力してもらいたいです。**